

# 60 リチウムイオン蓄電池の 安全な取扱い

近年、電解液に引火性液体（第4類危険物）を含むリチウムイオン蓄電池を原因とする火災が増加しています。出火の原因は機器の不具合や不適切な使用によるものが多く、取り扱いを誤ると火災を引き起こす可能性があります。

下記事項に注意したうえで、万が一発火した際には煙や火花が収まってから消火器・大量の水で消火するとともに、119番通報してください。

- 1 使用する前に取扱説明書をよく確認する。
- 2 衝撃を与えないよう適切に取り扱い、むやみに分解しない。
- 3 製造事業者が指定する充電器やバッテリーを使用する。
- 4 充電する際は整理整頓された場所や不燃性のケースなどに入れて充電をする。
- 5 充電器の接続部が合致するからといって、充電電圧を確認せずに使用しない。
- 6 膨張、充電できない、バッテリーの減りが早くなった、充電中に熱くなるなどの異常がある場合は使用をやめ、製造事業者や販売店に相談する。
- 7 製造事業者の問合せ先の記載がない製品や販売店や製造事業者の連絡先に電話が繋がらない製品もあるので、製品を購入する際には慎重に検討する。
- 8 熱のこもりやすい鞆の中などでの使用を控える。
- 9 万が一の被害に備えて不燃性のケースなどに収納する。
- 10 処分する際は、製品の取扱説明書及び地域のごみ回収方法をよく確認する。

リチウムイオン蓄電池からの火災に対する注意喚起について（消防庁 HP）

[https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/20240909\\_jimurenaku.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/20240909_jimurenaku.pdf)

